

誰だって、自分が生き生きと輝ける場所を探しています。

輝ける場所とは、自分の良さを発揮できる場所であり、自己肯定感を高められる場所。

その場所にすぐに出逢える人もいれば、長い時間をかけて、

ナビゲーター

努力の末にその場所にたどり着くという人もいます。

リーダーは、その人の才能や可能性を見出し、その人が輝く場所を用意する、ということができます。その人が輝く場所に連れて行くのです。

愛されるリーダーの条件

才能、能力見極め 適材適所に

ある時、メンター（人生の師）が、「あなたが輝くには、どうすればいいかな…」と口にされました。その一言で、「あ、こ

の人は、私が輝く場所について考えてくれたんだ」と、とてもうれしく感じたのを覚えています。

自分のことを考えてくれる。

そして、自分が輝けるチャンスを与えてくれる人に、人はついていきたい！と思つたのです。

自分のことは、自分ではよくわからないもの。人に褒められたい、認められたいと思うことで

初めて、人は自分の才能に気づくのを聞いて、「面白い。彼女は話すのが向いている」と感じ

てくださったそうなのです。その後、企業に就職が決まっていたので、当時はアナウンサーになるという道は選ばずに就職しました。それでも、その方はその後2年間ほど、説得に

来てくださっていました。才能や能力を認めてくれる人との出逢いが、人生を変えて

きます。そして、その人が輝くにはどうすればいいかを考えて人に接していると、あなたについていきたいと思う人が増え、

いくのです。職場内であれば、その人が輝くように適材適所を考えること

と。事務で採用したけれど、彼女は人と話す仕事に向いている。それが会社のさらなる魅力にな

る。営業や広報への異動も考える。営業で採用したけれど、精神的に繊細で、落ち込む彼を見ては、

「さあ、営業から経営管理や企画の担当に変わってみる、という方法もあり

ます。その人が輝き、さらに会社も輝く方向を探ることを続けてい

が、会社の発展にもつながっていきます。

リーダーのポジションでできることは、自分についてきてくれる人が、いかに輝けるかを考えること。その人の可能性を見

つけ、その人がどうしたら輝くのかを考え、そして輝く場所を用意する。

人がついてくるリーダーというのは、常にそのマインドを持っているのだと思います。そして、人を輝かせることが、あなた自身が輝くことにつながっていくのです。

【フリーアナウンサー 生田サリー】

（月曜に掲載）

